

「岐阜県スマート農業推進計画（第2期）」（素案）に対するご意見とご意見に対する県の考え方

・意見募集期間：令和4年12月13日～令和5年1月11日

・意見募集結果：2者16件

番号	該当項目	ご意見	ご意見に対する県の考え方
1	全般	隣の長野県の食料自給率は53%だが、岐阜県の食料自給率は24%と低い。素案には、食料自給率に関する記述が無いので、食料自給率の数値目標と目標を達成するための方法を記述した方が良い。	食料自給率については、県の農業・農村振興に関する最上位計画である「ぎふ農業・農村基本計画」において、水田農業における安定生産、生産基盤の整備、リスクに対応した産地づくりなどに取り組み、向上を図ることとしています。
2	全般	スマート農業の実証実験をすることは重要だが、農業の大部分をスマート農業に依存するようになると、システム障害やサイバー攻撃（ハッキング）のリスクに晒され、食料安全保障上のリスクになるということを認識する必要がある。 システム障害やサイバー攻撃は必ず起こることを前提として、起こった時にどう安全性を確保するかを議論する必要がある。	ご意見は関係機関等に共有するとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。

番号	該当項目	ご意見	ご意見に対する県の考え方
3	全般	<p>農業DXやスマート農業を推進すると、業務が効率化され、人手が要らなくなる可能性があるが、その場合、失業率が上がることになる。</p> <p>つまり、予め、生活保護の補足率を100%に限りなく近づける、あるいは、ベーシック・インカム導入、給付付き税額控除導入等のセーフティ・ネットを強化しておくことが必要不可欠になる。</p>	<p>岐阜県の農業における担い手不足や労働力不足にあたっては、スマート農業技術導入による省力化や生産性の向上に加え、就農者の育成や雇用就農・定年帰農・企業等の農業参入など、多様な取組みを進めています。</p>
4	全般	<p>スマート農業を実証実験的にやることは重要だが、その前に、人間の農業の担い手を増やすことや、耕作放棄地、休耕地を活用することの方が重要であると考えられる。</p> <p>具体的には、耕作放棄地、休耕地を県が借り上げ、公務員を派遣して農業を行うという産業政策が必要である。</p> <p>もし、公務員の数が足りなければ、失業者を雇用する、あるいは、岐阜県警察を動員すれば良い。</p> <p>上記の公務員を派遣して行う農業に、スマート農業を導入するのは一つの選択肢である。</p>	<p>ご意見は関係部署に共有するとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
5	全般	<p>1、2ページは「ですます調」で記述されているのに、3ページ以降は「である調」で記述されています。1つの計画の中で文体が混用されるのは読みにくく感じました。</p>	<p>ご意見のとおり、計画の中で文体を統一し、原則として「ですます調」として表記します。</p>

番号	該当項目	ご意見	ご意見に対する県の考え方
6	全般	スマート農業は、望ましい農業を実現する一つ的手段だと思うのですが、そうした手段を切り取って一つの計画とした趣旨を教えてください。	スマート農業技術は、県農業が抱える担い手確保や労働力不足解消といった課題の解決に期待される一方で、多くの農業者からは、自らの経営にどういった技術が活用できるかわからない、導入した時の効果が知りたい、という声が寄せられていました。こうした背景から、本県農業の特徴を踏まえた営農類型ごとのスマート農業技術や導入効果等を記載するとともに、県が重点的に取り組む施策を示すため、本計画を策定しました。
7	3 目指す将来像 (4 ページ)	「4年後の目標」の項目が、3 ページ「3 目指す将来像」の内容に沿っていないのではないのでしょうか。3 ページの内容から考えれば、軽労化・省力化の程度や単収の向上・品質の向上程度を目標にすべきであって、ここに挙げられた経営体数などはスマート農業の目的ではないのではないのでしょうか。	「目指す将来像」の達成に向け、計画に基づく施策の効果を定量的に測定可能な項目として当面の「4年後の目標」を設定しています。
8	3 目指す将来像 (4 ページ)	「4年後の目標」は、5 項目だけですか。スマート農業の理念・目的から考えれば、わずかな部分を切り取っただけのように感じます。	
9	3 目指す将来像 (4 ページ)	「4年後の目標」にある5 品目を具体的に教えてください。	

番号	該当項目	ご意見	ご意見に対する県の考え方
10	3 目指す将来像 (4 ページ)	「4年後の目標」で、「農業DX指導者の育成者数」は手段であり、目標にはなり得ないのではないのでしょうか。目標は、農業DX指導者が何をして、どのようにスマート農業の成果を発揮するかではないでしょうか。	農業におけるDXを進めるには、体制づくりとして、人材育成が重要であることから、育成者数を目標としました。
11	4 重点施策 (2) 技術の実証 (9 ページ)	一番下の・に食味マップの作成とありますが、収穫したものが農協のカントリーエレベーターなどに集荷されてしまえば、美味しいものも不味いものも混ざってしまうのではないのでしょうか。美味しいものだけを集荷し、有利販売する方法も合わせて記述してください。	スマート技術を使った技術実証方法を記載しており、販売方法については今後検討してまいります。
12	4 重点施策 (3) 技術研修 (10 ページ)	「農業DX指導者」と「スマート農業推進員」はどのように違うのですか。両者の違い、育成体系、活動内容がこの計画からはわからないので、説明をお願いします。	農業DX指導者は、スマート農業技術から得られるデータや農業に関する様々なデータを分析し、農業者に対し経営、栽培改善等を支援できる人材です。スマート農業推進員は、農業者等へスマート農業技術の効果を普及する人材です。

番号	該当項目	ご意見	ご意見に対する県の考え方
13	5 営農類型毎のスマート農業技術 (4) 果樹 (24 ページ)	「果樹園が住宅地に近接する事例が多く」とありますが、逆ではないでしょうか。「住宅が果樹園の近くに建設される事例が」、ではないでしょうか。	様々な事例があると考えられますので、「果樹園と住宅が隣接するケースが多く」に修正します。
14	6 スマート農業技術導入モデル (37 ページ)	ほとんどのモデルで導入効果額が黒字になるのであれば、もっと積極的に導入を促すべきではないでしょうか。	情報発信・集約や技術の実証、技術研修などを通じ、それぞれの経営の実情に即したスマート農業の推進に取り組んでまいります。
15	6 スマート農業技術導入モデル (41 ページ)	20%削減の下、「※面積」の部分で、このページだけ数値が入っていないようですが。	ご指摘を踏まえ、面積(16.7ha)を記入します。
16	9 役割分担 (87 ページ)	「9 役割分担」で、市町村に「スマート農業の推進」「技術の実証」とありますが、市町村役場に行けば指導してもらえるのでしょうか。計画の本文中に市町村は出てこなかった気がするので、具体的に教えてください。	市町村は、スマート農業技術の導入に関する啓発・普及など、県等と連携して活動を行っています。